

★竹野南の新たな交通を考える ワークショップ
第2回目 日時7月2日(金)
19時30分～

竹野南地区の公共交通を考え、自分たちで竹野南の未来を作るための話し合いを前回に引き続き行います。どんな交通方法で？ 何回ぐらい？ どこまで？ などイメージをまとめる作業です。



★ヨチヨチランド
日時7月10日(土) 10時～
内容 「みずあそび」

天候によっては、屋内あそびになります。



★無添加石鹸づくり教室

自然素材を使って、体にも、環境にもやさしい手作り石鹸づくり

日時 7月27日(火)
13時30分～

参加費 700円
申し込み〆切 7月20日(火)

★竹野南学園

日時 7月13日(火) 13時30分～
内容 暑い季節を安全に
参加費 200円(喫茶代)



お問合せ・申込は 竹野南地区コミュニティセンターへ 電話 48-0008

日	曜日	7月 活動・事業・センター貸館状況
7月1日	木	森本お花の会 19:30～
7月2日	金	竹野南の新たな交通を考えるワークショップ 19:30～
7月10日	土	ヨチヨチランド 10:00～
7月13日	火	竹野南学園 9:30～
7月16日	金	おもてなし珈琲13:30～
7月27日	火	無添加石鹸作り教室 13:30～

- ・毎週月曜日 玄さん元気教室 13:30～
- ・毎週水曜日 食事サービス 9:00～11:30
- ・ “ ささえ愛通所サロンわいわいみ・な・み 10:00～15:00
- ・毎週木曜日 喫茶よつば/わいわいみ・な・み市場 10:00～15:00



お知らせ

令和3年度の合同運動会・変装おどり・文化祭の中止について

昨年から引き続き猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症のまん延により、5月末までだった緊急事態宣言が延長され、今も兵庫県内、豊岡市内でも感染者が報告されています。

このような非常事態の中、令和3年度実施の合同運動会・変装おどり・文化祭を開催するには、厳しい状態が続いています。

本来なら竹野南小学校も今年で最後となり、地域としては盛り上げたいところなのですが…

しかし、高齢者の予防接種が5月からやっと始まったところで、厚生労働省では接種期間を令和4年2月までとしていることから、一般人や児童生徒への予防接種の完了時期がはっきりしません。

そのような中、子供達を含んでの合同運動会や文化祭など多くの人が集まり、接触をすることは危険な状態とのことで、区長会、コミュニティの両方で話し合い、今年度も中止することといたしました。

地域の皆さまは、さびしいと感じられることと思いますが、住民や小学校の児童を守るために、我慢していただきたいと思います。

また、コロナが終息し、安心して生活ができるようになったら、みんなで楽しく集いましょう。



中止

「みんな 仲良く 未来に向けて」



お待たせしました！

★令和3年度のわいわいみ・な・み市場が再開して賑やかに

5月27日より、市場が再開して、多くの方に来ていただきました。皆さん口々に「楽しみに待ってました〜」と言って下さいます。

しかし、緊急事態宣言が5月末から6月にも延長されたこともあり、市場のお買い物は、一度に入店できる人数を制限させていただきました。

お買い物に来てくれた方々も事情を説明すると、順番に並んで待ってくれます。今後も安全を守りつつ運営していきます、皆さんご協力下さい。



火の用心！

★消火訓練実施しました

今年1回目のコミュニティセンターの消火訓練を実施しました。消防署よりお借りした消火器で、利用者の皆さんも放水しました。

昔と違い高齢化が進み、若い人が少ないいうえに、昼間は仕事で豊岡市内などに働きに行ってしまう人が多く、消防団があってもすぐに駆けつけられる状態ではありません。

次回は、地域の女性を対象に、消火栓とホースの接続方法などを学び、いざという時には自分達で家や命を守れるように備えたいと思います。



竹野南の新たな交通を考える ワークショップ 1回目報告

交通課題①「高齢者の視点」②「子供と保護者の視点」について話し合いを行いました。各グループからは以下のような意見が出ました。

床瀬線グループの課題

- ① 人に頼むと診察が長引いたら迷惑をかける…。老人車が必要だが持ってバスに乗れない。乗り継ぎが大変(時間・身体)。バスの乗降りに時間が掛かると他者に迷惑がかかり、遠慮してしまう。冬は凍結し、転倒が怖くてバス停までいけない。
- ② 学童の時間に合わせるのが大変(仕事がある)。部活ができない(我慢している)。習い事の送迎が厳しい。フルタイムで働けない。友人と遊びたくても、バスの時間が合わない。学校は竹野、塾は豊岡という家庭が多いので、送迎が大変。

三原線グループの課題

- ① バス停が遠く、利用できない。バス路線では、行きたい所(店・病院)に行けない。乗り継ぎが大変。毎日買い物に行けないのでまとめ買いをしたいが、荷物が重いと乗り降りやバス停前後の移動が大変。家族や近所に送迎を頼むのも何度もは頼みにくい。遊びに行くのに人に送迎を頼めない。雪があるとバス停に行けない。
- ② 習い事や学校など、子どもの送迎に時間が掛かり、家事に支障が出る。送迎のために仕事を変えなければいけなかった(正社員では働けない)。子どもが親に遠慮して、やりたい事を我慢しているが生活もあり可哀そうな思いをさせている。親だけで送迎出来ず、祖父母に助けてもらわないと出来ない。親の勤務は豊岡で、子供は竹野なので移動距離が長い。

全但バス路線(森本坊岡)グループの課題

- ① 車の運転が出来る前提の生活なので、車(バス含む)が無いと生活できないが、人を乗せるのも不安(自信が無い)。買い物は、1か所では出来ないしコープの個配だけでは無理。バスは、バス停までの移動が辛い、重い荷物を持っていると歩けない。スクールバスの活用が今後必要か。 など
- ② 親が仕事をしていると自由に習い事をさせてやれない(子どもがいろいろ我慢している)。塾や学校(高校)は豊岡なので、子どもだけでは移動ができない。子どもが友達と自由に遊べない。親も仕事と子どもの学校や塾の送迎で時間がなく生活時間のやりくりが大変。土日にイナカーが走っていないので、子どもが休みに自分だけで移動できない。等々、親も子どもも、我慢やお互いの調整で大きな負担を感じている。

* 高齢者はバス停までの移動、乗換、バスでは必要な買い物が出来にくいなど身体的、路線的課題が多く上がった。

* 子供・保護者は、送迎のために仕事の制限があったり、子供自身が多くの我慢や、したい事が出来ないという状況が見えてきました。